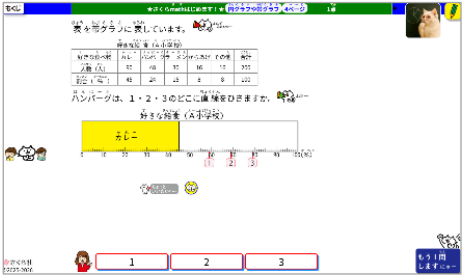
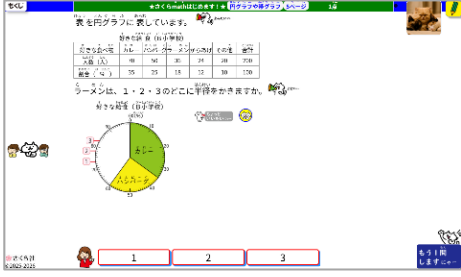


付けたい力：

- ・表から割合の数値を読みとり、帯グラフと円グラフに表すことができる。
- ・帯グラフや円グラフに表すと、割合の大きさが視覚的に分かりやすくなるよさに気付く。

学習活動	指導上の留意点																					
<p>1 めあてを確認する。 T：今日は、帯グラフと円グラフの描き方を学習します。</p> <p>2 &lt;さくら math&gt;に提示された表の数値を正しく読み取る。</p> <table border="1" data-bbox="194 600 738 739"> <caption>好きな給食 (A小学校)</caption> <thead> <tr> <th>好きな食べ物</th> <th>カレー</th> <th>ハンバーグ</th> <th>ラーメン</th> <th>からあげ</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数 (人)</td> <td>90</td> <td>54</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>割合 (%)</td> <td>45</td> <td>27</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 帯グラフの描き方を知る。 T：この表を帯グラフにします。</p>  <p>(例：ハンバーグに直線を引く場合) T：カレーライスの好きな人は45%です。1・2・3のどこに直線を引けばよいですか。 C：2です。理由は、～だからです。 T：では、2をクリックします。 T：45%に、ハンバーグが好きな人の24%をたした69%の目盛りに直線を引きます。 T：では、次の問題。</p> <p>4 円グラフの描き方を知る。 T：この表を円グラフにします。</p>  <p>T：(以下、展開3と同様に進める。)</p> <p>5 個別学習をする。 T：&lt;さくら math&gt;の4ページと5ページの問題を各自で進めましょう。自信がついた人は、プリントの問題に取り組みます。</p> <p>6 本時のまとめ、ふりかえりをする。</p>	好きな食べ物	カレー	ハンバーグ	ラーメン	からあげ	その他	合計	人数 (人)	90	54	26	20	10	200	割合 (%)	45	27	13	10	5	100	<p>1 めあてを板書する(または、大型モニタやプロジェクターで提示する)。</p> <p>2 &lt;さくら math&gt;「円グラフや帯グラフ」4ページを大型モニタ等に提示する(問題はランダムで表示される)。 ・〇〇が好きな人の人数や割合、〇人が好きな食べ物、〇%の人が好きな食べ物を問いかける。テンポよく進める。</p> <p>3 問題はランダムに表示されるため、ここでは割合をたして、直線を引く目盛りを正しく選ぶことを目的にする。 ・三択問題から児童が答え、理由を尋ねた後、&lt;さくら math&gt;をクリックして解答と解説を聞く流れを進める。3問程度行い、展開4に進む。</p> <p>4 5巻5ページの画面を提示する。展開3と同様に3問程度行い、展開5に進む。 ・円グラフでは、円の中心から円周上の目盛りに引く直線が、円の半径にあたることをおさえる。目盛りが曲線になることで帯グラフより数えにくく感じる児童がいることに留意する。</p> <p>5 個別最適化の時間として、机間巡視をしながら、個別の支援をする。 ・終了時刻を明示して、タイマーをセットする。 ・暗算が苦手な児童のために、計算用紙や電卓を用意しておく。 ・プリントの問題に取り組む際は、定規を使って直線を引くことを徹底する。</p> <p>6 児童の発言を肯定的に受け止める。</p>
好きな食べ物	カレー	ハンバーグ	ラーメン	からあげ	その他	合計																
人数 (人)	90	54	26	20	10	200																
割合 (%)	45	27	13	10	5	100																